

アクションプランにつながる 「まちプラン」の作成

「東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり構想」（平成30年3月策定）

東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり構想

アクションプラン

基本理念 (まちの将来像)

「みんなで
つながる
ふだん暮らしのまち」

基本目標 (まちづくりの基本方針)

地域のつながりによる 安全・安心づくり

地域住民の高齢化、単身世帯の増加及び子育て世帯の増加など、だれもが暮らしやすい地域を築きあげます。
そのため、集まり、集まる場所づくりや、地域での活動の場づくりなど、子どもから高齢者まで、あらゆる人が地域の中核となるつながりのもとで、安心して暮らせる地域づくりに取り組めます。

誰もが住みやすく 楽しく暮らせるまち

「かんたんでつながる ふだん暮らしのまち」を実現するには、あらゆる年齢や性別、国籍や民族、障がいのあるなしを問わず「人と人とのバリアフリー」を促進する必要があります。
そのために、人と人をつなぐ環境を整え、障がい者や高齢者、子どもなどの移動のバリアフリー、若い世代や女性なども地域活動に参加しやすい環境づくり、多様な世帯が住み続けられる住宅・住環境の充実などに取り組めます。

関西各地につながる 便利・快適なまち

西淀川地域は、関西各地につながる交通結節点となることで、全国から世界まで人が集まる機能に変わります。その中で、住居がこれまでに集まる場所として、まちに入居しやすさ、移動の利便性などの利便性を高める必要があります。
そのため、これまでの歴史や文化遺産、にぎわいある場所などの利便性を高めながら、地域に「行ってみたい」と思われる魅力づくりや「住みたい」と思われる、豊かで快適な住環境づくりに取り組めます。

実現したい暮らし・まち (まちづくりのテーマ)

第三の居場所づくり・孤独を伴わない
子育てや高齢、学校以外に「第三の居場所」となる拠点づくりを軸として、高齢者から子どもまで地域でのつながりを実現し、暮らしやすさを高めることに取り組めます。

子育てがしやすい・子どもの孤食をなくす
働きながら子育てがしやすい、子どもの遊びの場と学びの場をつくりだすことで、子どもが一人で暮らすことがない地域をめざして、地域を活性化します。

高齢者が安心して暮らせる
高齢者世帯の増加が懸念される中、高齢者が多岐にわたる活動に参加することなく、安心して暮らし続けられる地域をめざして、地域を活性化します。

誰にもやさしいユニバーサルデザイン
新たに建設される施設のハード面のバリアフリーだけでなく、ソフト面でも配慮することなく、新たなまちづくりを実現するためのバリアフリーと取り組めます。

楽しい地域活動ができる
地域活動の場づくりや活動の場を確保して、新たな世代が地域に参加しやすくなるように、新たなまちづくりを実現するためのバリアフリーと取り組めます。

人と人をつなぐ環境を整えた関係
だれもが地域の一員として受け入れられ、その人が、その人らしく、ありのままに暮らせる地域をめざし、人権を尊重するまちづくりと取り組めます。

多様な世帯にとって住みよい住環境
多様な世帯が住む環境を整える地域をめざし、ファミリー世帯や高齢者世帯、単身など多様な世帯が住みやすくなるように、住居の確保と環境づくりと取り組めます。

世界各地から人が集まり交流が生まれるまち
新たな観光地、美術館など大規模な施設が生まれることで、国内外から人が集まりやすくなるように、新たなまちづくりを実現するためのバリアフリーと取り組めます。

歴史と文化を尊重するまち
これまでのまちのあり方や歴史遺産を大切にするとともに、新たな人が集まりやすくなるように、新たなまちづくりを実現するためのバリアフリーと取り組めます。

テーマ別の活動方針

【まち・地域の発展】
・様々な災害に対して強いまち
・保育園、幼稚園、子育て支援の充実
・多様な世帯構成に対応した住居の確保
・駅前の交通結節点の強化、駅前の歩道整備
・住宅街と生活結節点をつなぐ交通手段
・大規模施設、コンビニなどの商業施設
・駅ナカ商業の充実

【空間づくり・場づくり】
・明るく楽しい空間（公園、商店、施設）
・様々な人が集まれる場所の確保と整備
・だれもが安全に利用できる歩道整備
・お年寄りや子どもと休める空間
・大人の目が届く子ども遊び場
・子どもの居場所の確保（学校・家庭以外）
・歩きやすくなるまち（歩道と交通手段）

【地域活動】
・障がい者にやさしいソフト面の取り組み
・若い世代が活躍できる「新しい」地域活動
・スポーツや文化など多様な活動の推進
・地域の行事・文化の継承
・子どもの居場所の確保
・商店街のコミュニティビジネスへの支援

【情報発信】
・情報発信・情報化に対応
・高齢者への情報伝達
・情報発信・にぎわいづくりに対応
・歴史文化施設等のスポット、情報発信

【環境づくり・緑地づくり】
・地域に親しい環境を整える環境づくり
・社会の多様な価値観や価値観づくり
・地域内で住みやすくなる環境づくり
・若い世代が参加しやすい環境づくり
・地域活動に参加しやすい環境づくり
・女性も活躍しやすい環境づくり
・「つなぎ道」を軸とした環境づくり
・商店街の環境、環境整備

アクションプランでは未来の話をしますが、100年-50年前の地図などを一緒に載せておくとおもしろい

コロナ禍での新たな取り組みを考慮した上で、アクションプランのブラッシュアップを

宝塚市では地域ごとのまちづくり計画の見直しのため、ガイドラインを公開しているので参考に

地域からの要望も、アクションプランに位置付けられると重みが変わってきます

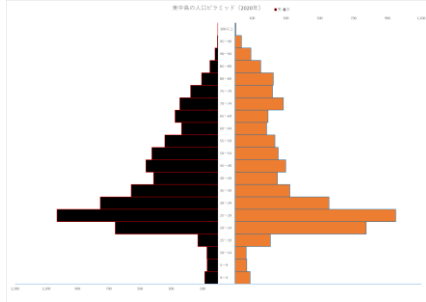
10年後にどういいう地域にしたいのかという話を話し合い、それを実現するために何を日々やっていくのか、という2段階構えにすると分かりやすい

この機会に活動の棚卸をしてみませんか

まちプランの構成イメージ

1. 地域の現況

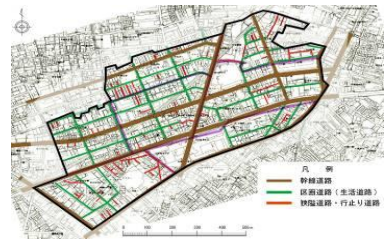
人口



土地利用



道路網



歴史



福祉



災害



2. 地域のありたい将来像

キャッチ
フレーズ

家族で暮らすなら〇〇

10年後のめざす姿

〇〇地域は、梅田まで電車で20分、新大阪駅から新幹線で全国に行けるなど、仕事にも買い物にも近いベッドタウンです。阪急の高架化に伴い〇〇線もつながれば、ますます便利になります。元気な商店街があり、夏祭りなどの地域イベントも活発に行われています。

昔から地域のつながりが強く、大阪の下町の雰囲気が今も残っている、温かみのある地域です。

これからも、「便利」で「住みよい」「賑やか」なまちの特性を生かし、子育て世代の人が集まるまちをめざしていきます。

3. まちづくりの方向性

①暮らし

- ・健康づくりが楽しくなる環境づくり。
- ・高齢者が楽しめる場づくり。
- ・憩いの家を地域の交流拠点として活用する。

②産業

- ・商店街、地域商店の魅力づくり。
- ・子育て世代が働きやすい環境づくり。
- ・外国人観光客に対応するルールを明確にする。

③安全安心

- ・一人ひとりの防災意識の向上。
- ・つながりによる災害への対応。

④賑やかなまち

- ・伝統を継承していけるまち。
- ・高架下を活用した新たな賑わい創出。
- ・働く世代が交流できるイベント。
- ・移住者も含めみんなが参加でき、楽しめるまちづくり。

⑤交通環境

- ・交通事故のない環境づくり。
- ・道路整備に対応した通学路の安全性の確保。

⑥子育て環境

- ・地域行事に参加できる環境。
- ・地元食材を使った食育の推進。

4. アクションプラン

活動分野	事業			まちづくりの方向性	まちづくり構想	保健福祉計画
	番号	名称				
防犯・防災	1	防犯に係る啓発事業	街路防犯灯			
			青色防犯パトロール			
			歳末夜警			
			児童登下校見守り	⑥	①③④	
	2	交通安全運動				
	3	防犯教室・見守り教室	防犯教室			
			見守り教室			
	4	防災研修・訓練	防犯研修			
			防災訓練			
子ども・青少年	5	子どもスポーツ推進活動	キック、ソフト	④⑥	①④⑤	
			親と子のスポーツ大会、大縄跳び、ドッジ、グランドゴルフ	①⑥		
			凧揚げ大会（新）	⑥		
	6	子育てサロン活動	歌体操のみリモート実施			
	7	子ども生涯学習（遊びの玉手箱）				
	8	ミニキャンプ				
	9	もちつき大会				

地域活動協議会をはじめとする地域団体の活動等（後で、まちづくり構想や保健福祉計画とも関連付ける）

まちプランの作成に向けて

まちプランとは…

- ▶ 「まちづくり構想」の地域版 + アクションプラン（行動計画）
- ▶ まちの未来の姿を地域で共有
- ▶ 各地域が主体的につくる、地域の基本計画（地活協単位）



事務局の作成サポートあり！

○まちプランの全体的な流れ

